

花卉



スリップス (アザミウマ)について



花卉
竹川 慶剛
上島営農指導センター
080-1729-1637

今回は花き類で高温乾燥時に多発するスリップス (ミカンキイロアザミウマ、ミナミキイロアザミウマ) について紹介します。

ミカンキイロアザミウマ (主に花・蕾に寄生)

虫は体長 1.0 ~ 1.7mm。黄色黒褐色。

ミナミキイロアザミウマ (主に葉に寄生)

成虫は体長 1.3mm前後、全体が黄色で羽の合わせ目が黒く筋状に見える。

・生理生態

卵~成虫までの期間は 10 ~ 20 日

成虫の寿命は 30 ~ 40 日

成虫の1匹の雌は 150 ~ 300 個を産卵し、1ヶ月後に 300 倍に増殖します。

蛹の時期が近づくと地表へ移動し、土中で蛹になります。

休眠しないので、施設内では冬でも発生します。

施設では2月下旬から増加し始め、5~6月に最も活発に活動し、初夏~初秋に大量に増加します。

成虫の飛翔能力は低く、自力で5m程度しか移動できません。

・被害の特徴

・新葉、新芽でひっかき傷に似た症状や茎の曲がりや葉の奇形が見られます。芽の中に潜り込んでいるため、発見が難しくなります。

・展開葉に寄生した場合、加害部が白く光ったように見え、周辺に小さく茶~黄色の虫が見られます。
・蕾に侵入した場合、特に色の濃い品種ではカスリ状の症状が現れます。

・防除対策

耕種的防除

- ・施設内では、作付前に除草を行い、ハウスは閉め切り、次の作付けまで 20 日以上あげ、成虫を餓死させます。
- ・本種の発生した施設では土壌消毒を行い、蛹または成虫を死滅させます。
- ・株や苗で持ち込まれる場合が最も多く、株や苗を購入する場合は本種が寄生しているかどうか確認します。
- ・黄色、青色の粘着トラップで発生の有無を観察して、発生動向に十分注意する。
- ・木酢液を噴霧することで、スリップスを忌避する効果があります。
- ・砂糖を 200 倍 ~ 500 倍に希釈し、有機リン剤を溶かして噴霧すると、新芽や蕾から這いだし、舐めて死滅します。

薬剤防除

・薬剤防除については、スリップスの種類や薬害等がありますのでお近くの営農センターまでお問い合わせ下さい。

果樹



9月の柑橘園管理



果樹
山下 俊二
下島営農指導センター
080-1729-1632

8月中旬の降雨により、気温が下がり日焼け果の発生が緩やかです。ただし、今後の気温次第では10月上旬まで日焼け対策を行い後半の日焼けが出ないように注意しましょう。また、降雨が少ないときは、かん水を行い肥大促進・樹勢維持を行いましょう。

1. 病虫害防除

収穫時期の近い極早生については、農薬の倍数・収穫前日数に充分注意して使用して下さい。

○基幹防除

品目	対象病虫害	薬剤名	希釈倍数	収穫前日数	使用回数
早生・中熟 普通温州	黒点病	ジマンダイ セン水和剤	600 倍	30 日前 まで	4 回
中晩柑	黒点病	ジマンダイ セン水和剤	600 倍	90 日前 まで	4 回

○黒点病防除を行いたい極早生・ポンカン・パール柑等年内収穫する品種では、収穫前日数の関係上

ナティーボフロアブル 1,500 倍 (収穫前日まで使用可能) をご使用ください。

○黒点病で使用するエムダイファー水和剤についても極早生温州、年内収穫品種では使用しないで下さい。

○ハダニ数

品目	薬剤名	ハダニ	サビダニ	ホコリダニ	希釈倍数	収穫前日数	使用回数
温州 中晩柑	スターマイト フロアブル	○		○	2,000 倍	7日前まで	1回
	ダニコング フロアブル	○			3,000 倍	前日まで	1回
	コロマイト フロアブル	○	○	○	2,000 倍	7日前まで	2回

2. 施肥

施肥後降雨がない場合は、かん水を行うようにして下さい。

施肥時期	品種名	肥料名	10a当たり 施用量
9月上旬	甘夏・河内晩柑 清見・パール柑	熊本果樹肥料10-7-4 又は ひのくに果樹 9-3-3	4袋
	デコポン	熊本デコポン8-3-3 又は ひのくに果樹 9-3-3	4袋

3. 土壌水分管理

極早生温州では9月1日の分析結果を基に、今後の水分管理を徹底して下さい。

中晩柑類については今後も肥大促進の為、降雨が少ない場合は定期的にかん水をして下さい。

○豊福早生

糖度	酸度	生産対応
—	2.3 以上	多量かん水3t以上/10a 3日間隔
	2.0 ~ 2.2	少量かん水3t以上/10a 5日間隔
9.0以上	2.0 未満	現状維持
9.0未満	—	乾燥ストレス促進

4. 仕上げ摘果の実施

日焼け果や病虫害果を中心に仕上げ摘果を行って下さい。

野菜



茎ブロッコリー栽培耕種基準



野菜

宮内 勝幸
上島営農指導センター
080-2751-6373

茎ブロッコリー栽培耕種基準

月	9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
露地	播種			定植									収穫								

1) 品種 : スティックセニョール

2) 播種・育苗

プラグトレイ 200 穴又は、ペーパーポットV4をそれぞれ 23 冊、28 冊準備する。一粒ずつ播種し、種子が隠れるくらいに覆土する。乾燥防止の為、新聞紙で覆う。発芽を確認したら、新聞紙をはぎ、(20~25℃で2日程) 徒長を防ぐ。プラグトレイの場合、根鉢をつくるために地上から浮かせる。(10cm程度でもOK)

3) 本圃準備

出来るだけ早めに石灰窒素(80kg/10a)を施用し、耕耘する。
(注) 石灰窒素は作物に直接触れると障害が起きる場合がある

ので、最低でも定植の2~3週間前までに行う、分解を促進するため水分を十分保つ。元肥は、土壌水分が適当な時に全面散布し、畦立てマルチを行う。※石灰窒素を使用しない場合は、CDU s555、苦土石灰を増量する。

4) 定植

畦幅135cm、株間35~40cm、条間45cm(3500~4000株/10a)の浅植えとし、定植後液肥(500倍)で灌水を行い、活着を促す。

5) 収穫

収穫前に頂蕾が500円玉だいになった頃、腋芽を残して摘芯する。それ以降は、外葉を落とし腋芽を伸ばし収穫する。

6) 追肥

第1回収穫後、窒素成分で10a当り2kg程度を穴肥で施す。以降、2週間おきにN成分で2kg程度を追肥する。

農機センター・渉外担当者・受付先一覧

農機の点検・修理は私たちにお任せください!故障の際は、まずは各地区の担当者にお電話を!ご自宅や圃場まで駆けつけます!

【下島農機センター】096 9 (78) 4980

担当地区	氏名	携帯電話
*センター長	大石 進也	080-2724-7740
*新和	大田 耕志	090-7449-6644
*河浦	平田 博安	080-1725-4453
*牛深	北野 伸二	080-1545-7529
*天草	大石 進也	080-2724-7740



【上島農機センター】096 9 (53) 1139

※佐伊津地区の方は、上島農機センターにて対応いたします。お気軽にお電話ください。

担当地区	氏名	携帯電話
*センター長	福田 泰久	080-2722-1162
*有明	福田 泰久	080-2722-1162
*松島・姫戸	福田 泰久	080-2722-1162
*倉岳・龍ヶ岳・御所浦	早崎 崇	080-2723-6986
*栖本	百田 昇	080-2721-4125
*工場	山口 祐介	080-2724-0320
*工場	山田 良一	080-1545-2921
*工場	宮崎 善徳	080-2774-0182

使わなくなった農業機械を引取希望者へ紹介いたします!

もう使わなくなった農業機械が倉庫に眠っていませんか?

「だれか必要な人がいれば譲りたい」という方の農業機械を広報誌などに掲載し、

引取希望者への紹介をいたします。掲載・紹介にかかる手数料は無料です!各農機センターへお気軽にご相談ください。

大矢野農機センター : 080-2735-0029

上島農機センター : 0969-53-1139

下島農機センター : 0969-78-4980



※農業機械の点検修理・運搬などが必要な場合などもお気軽にご相談ください。(別途手数料が発生いたします。)